

くらし・福祉・教育 最優先の市政に

羽曳野3月市議会

日本共産党
羽曳野市会議員団

国民健康保険料の引き下げを

修正案に対する賛否
(○賛成 反対×)

会派名	賛否
日本共産党	○
自由民主党	×
公明党	×
新生はびきの	×
市民ネットワークみらい	×
大阪維新の会羽曳野	×

力を含め、市民の命と健康を守るために、保険料の引き下げに全力をつくしてがんばります。

景気の悪化が市民の暮らしを直撃しています。そんな中で「生活を応援してほしい」との願いは切実です。そこで、日本共産党議員団は、「国民健康保険料の引き下げ」を求める修正案を提出しました。羽曳野市の国保料が府内の平均より高いことや、国保会計が基金と繰越金合わせて20億円以上あり、他の自治体のように、その一部を活用すれば国保料の引き下げはできることを主張しました。

しかし、他の会派議員は、「基金は、健康増進に使うべき」「基金を保険料引き下げに使ったわけではない」などの反対理由をあげ、修正案が否決されました。日本共産党議員団は、引き続きみなさんと力を合わせ、市民の命と健康を守るために、保険料の引き下げに全力をつくしてがんばります。

日本共産党
修正案を提出



日本共産党羽曳野市会議員団
左から、嶋田、ささい、ひろせ、若林各市議

子ども医療費助成 小学校卒業まで通院にも助成を

市町村	通院	入院
羽曳野市	就学前まで	小学校卒業まで
松原市	就学前まで	小学校卒業まで
藤井寺市	就学前まで	中学校卒業まで
河内長野市	小学校3年生まで	中学校卒業まで
大阪狭山市	小学校3年生まで	中学校卒業まで
富田林市	小学校卒業まで	中学校卒業まで
河南町	中学校卒業まで	中学校卒業まで
太子町	中学校卒業まで	中学校卒業まで
千早赤阪村	中学校卒業まで	中学校卒業まで



子育て世代の生活は大変な状況になっている中、子ども医療費助成は切実な願いです。

左表のように羽曳野市の子ども医療費助成は、近隣市より大変遅れています。「近隣市と同水準まで、助成年齢を引き上げてほしい」という願いは当然です。日本共産党議員団は、この間、医療費助成の拡充を求めてきていますが、市長は「今後の拡充計画は、現在考えていない」と親の願いに背を向けています。

日本共産党議員団は、引き続き、「拡充」を求めていきます。

年少扶養控除廃止による増収分で 国は 妊婦健診・3ワクチン接種を財政措置

妊婦健診助成の拡充を

市町村	妊婦健診助成費用
羽曳野市	64,100円
松原市	70,360円
藤井寺市	100,000円
河内長野市	116,840円
大阪狭山市	116,840円
富田林市	116,840円
河南町	116,840円
太子町	116,840円
千早赤阪村	116,840円

(現在、国通知は14回で116,840円)

国が妊婦健診の財政措置の見直しを打ち出したことにより、近隣市は、助成費用を引き上げました。ところが羽曳野市は、1500円の上積みにとどまり、6万4100円です。近隣市で最低の助成額です。(左表参照)

こんなにひどい格差は直ちに是正すべきです。

羽曳野市は
助成費用、近隣市で最低

3ワクチン予防接種が無料に!

(ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン)

3ワクチン予防接種の定期接種化や、財政措置の見直しを受け、今年4月から、羽曳野市でも全額公費負担で実施することになりました。

羽曳野市ではこれまで1割の自己負担がありました。近隣市が、以前から全額公費負担で実施してきたことから見ても、公費負担は当然のことです。

